

海と生きる 記憶をたどる物語

Tracking Memories of Living with the Sea 2024.1.13(Fri) - 3.17(Sun)

2011年3月11日に発生した、東日本大震災。

宮城県気仙沼市にあるリアス・アーク美術館は、震災発生直後から約2年間にわたり、震災被害記録と調査活動を行いました。撮影された写真は約50,000点、収集した被災物は約250点におよびます。

津波によって失われた日常と、あの日から変わり続ける風景。調査員自らも被災者という過酷な状況のもとで撮影・収集された写真と被災物は、震災以前の記憶を未来に繋ぐ役割を担いながら、現在同館の常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」にて公開されています。本展では、同リアス・アーク美術館協力のもと、その写真と被災物を日本海側の地域において初めて公開いたします。

あの日から、13年。今回、展覧会にあわせて黒部市の方々を中心に、記憶や大切なものをテーマに作品募集をしたところ、多くの方にご賛同いただき作品が集まりました。気仙沼と黒部。どちらも古くから漁業を生業とし、海とともに生きてきた町です。

本展を通して、時間と場所を越え、大切な記憶をたどる機会になれば幸いです。

*「海と生きる」は気仙沼市の震災復興計画に係るキャッチフレーズとしても選ばれた言葉です

オープニングセレモニー & ギャラリートーク

2024年1月13日(Fri) 11:00~ 会場：黒部市美術館

リアス・アーク美術館 館長 山内宏泰氏による展示解説を行います。どなたでもご参加いただけます(観覧券が必要ありません)。



山内宏泰 やまうちひろたけ

1971年宮城県石巻市生まれ。1994年宮城教育大学中学校美術教員養成課程卒業、同大学院入学(リアス・アーク美術館勤務のため9月で中退)。1994年10月よりリアス・アーク美術館学芸員。現在同館館長、気仙沼市在住。2015年リアス・アーク美術館「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示設置、公開(担当) / 2014年10月〜気仙沼市東日本大震災遺構検討会議委員及び遺構施設展示アドバイザー / 2017年「平成29年度朗読賞」受賞(日本博物館協会) / 著書に『砂の城』(近代文芸社)がある。



リアス・アーク美術館

1994年10月開館。気仙沼市の市街地から南西2.5kmの位置にあり、気仙沼湾を見下ろす丘陵地帯の一角に位置する。東北・北海道の美術を中心に調査研究、展覧会を開催するとともに、地域文化(特に漁村文化と食文化)を中心に歴史・民俗などを研究・蓄積・展示している。東日本大震災での被災により約1年半の休館を経て、2015年に完全開館した。

I 東日本大震災の記録

リアス・アーク美術館所蔵 | 被災現場写真40点、被災物11点 | 公開予定

2011.3.11



2011年3月11日、15時50分、リアス・アーク美術館屋上から望む気仙沼市内湾付近の状況。

14時46分の地震発生直後から同規模の余震が30分ほど続く中、16時26分前後から津波が押し寄せ、15時50分前後に最大波が町を呑み込んだ。津波によって破壊された町からは白煙(家屋倒壊による粉塵)が立ち上った。「だめだ…終わりだ…」、皆が口々にそう呟きながらこの光景を呆然と見つめていた。

2011年3月29日、気仙沼市浜町(鹿折地区)の状況。

津波被災現場を歩くと、目にする光景の非現実性、あまりの異常さに思考が停止してしまう。常識に裏付けられた論理的な解釈ができず、一瞬、妙に幼稚な思考が顔をのぞかせる。「巨人のいたずら…」などと感じたりするのだ。実際、そんな程度の発想しかできないほどメチャクチャな光景が果てしなく続いていた。



2011.3.29

2012.3.30



津波つつうの、みな持ってってしまふべえ、んだがら何にも残んねえのっさ…基礎しかねえし、どごが誰の家だが、さっぱり分かんねんだで。そんでも、玄関だの、風呂場だののタイルあるでしよ。あいづで分かんかね。俺もさあ、そんで分かったのよ。手のひらくらいの欠片でも、家だからねえ。残ったのそれだけだで。 (「タイル片」2012.3.30〜4.20 / 気仙沼市・南三陸町各所)

II わたしたちの場所から

募集作品・出前授業作品の展示

本展覧会にあわせて、黒部市の方々を中心に作品募集を行いました。

絵画・立体造形・写真部門において6つのテーマ①未来に残したい風景②私の大切なもの③思い出す時間④海のめぐみ⑤再生と希望)で作品を募集し、50名以上のの方々にご出品いただきました。その作品を展示いたします。



黒部市内に制作拠点をもち作家2名と当館学芸員が講師になり、海に近い市内の小学校2校で出前授業を行いました。リアス・アーク美術館の活動を学ぶとともに、「私の大切なもの」などをテーマに作品制作を行いました。その作品を展示いたします。



黒部市立生地小学校 6年生 26名
講師：清河恵美(日本画家)

黒部市立石田小学校 6年生 40名
講師：清河北斗(彫刻家)

